



2024年6月26日

各位

会社名 株式会社アクセスグループ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 木村 勇也
(コード番号: 7042 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 常務取締役 財務企画部長 保谷 尚寛
TEL. 03-5413-3001

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2022年12月26日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況および計画書の更新(計画期間の変更)について」を公表し、2025年3月期までのスタンダード市場における上場維持基準適合を計画しておりますが、2024年3月31日時点において、未適合の状況となっております。下記のとおり、引き続き上場維持基準適合に向けて、各取り組みを進めてまいります。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況および計画期間

当社の2024年3月末時点における東証スタンダード市場の上場維持基準への適合状況及びその推移は以下の通りとなっており、「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。当社は、「流通株式時価総額」に関し、公表している計画どおり、2025年3月期までに上場維持基準を充たすために各種取り組みを引き続き進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	
上場維持基準	400人	2,000単位	1,000,000,000円	25.0%	
当社の適合状況及びその推移	2022年9月末日時点	917人	5,228単位	437,785,450円	42.8%
	2023年3月末日時点※1	1,066人	5,533単位	423,488,857円	45.3%
	2024年3月末日時点※2	1,160人	7,134単位	615,726,346円	49.7%
2024年3月末日時点の適合状況	○	○	×	○	
計画期間	—	—	2025年3月末	—	

※1 2023年3月期は決算期変更に伴い6ヶ月決算となっております。

※2 当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が2024年3月31日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価

当社は、2022年12月26日に公表しました「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況および計画書の更新(計画期間の変更)について」においてスタンダード市場基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題および取り組み内容を定め公表いたしました。これらを実行していくことで、「流通株式時価総額」の基準達成を目指しており、2024年3月期末時点では、充足していないものの、2025年3月末までの計画は着実に推移していると評価しております。

[取り組みの実施状況]

(1) 1株当たり当期純利益の増加

1株当たり当期純利益の増加を最優先のミッションとして、事業活動に取り組んでまいりました。当連結会計年度では、プロモーション支援事業がセグメント損失を計上したものの、採用支援

事業では、求人ニーズの高まりを受け、積極的に提案活動を展開した結果、上場来最高益となりました。今後は、経験者（中途）採用領域にも対象を広げた採用代行業務の受託や、外国人留学生を含む人材紹介サービスにも取り組むほか、業務提携先の株式会社プロネクサスとの共同提案を一層加速させています。

これらを要因として、2024年3月期の連結業績は、連結営業利益、連結経常利益、連結親会社株主に帰属する当期純利益において、計画数値を上回る結果となりました。（2024年3月期業績の詳細については、2024年5月15日公表の「2024年3月期決算説明資料」をご参照ください。）

2025年3月期の連結業績は、①BPO需要に応じた業務代行・事務局機能の拡充と効率化②大学との協力連携深化、新たな取引部署・支援業務の開拓③㈱プロネクサスとの業務提携による取引先の拡大④外国人留学生分野の更なる拡大、就労支援強化⑤財務面の強化と企業価値の向上を重点施策として事業を推進してまいります。

2024年3月期連結業績（2023年4月1日から2024年3月31日）

	2024年3月期計画（百万円）	2024年3月期実績（百万円）	達成率（%）	ご参考（2023年3月期）
売上高（百万円）	3,500	3,452	98.6	1,906
営業利益（百万円）	40	88	220.0	57
経常利益（百万円）	23	73	317.3	45
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	20	127	635.0	43
一株当たり当期純利益（円）	13.98	94.84	—	36.13

（注）2023年3月期は決算期変更に伴い、2022年10月1日から2023年3月31日までの6か月間となっております。

（2）株主還元も含めた当社への期待値向上とIR活動の活性化

（i）株主還元の充実

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つであると認識しており、長期的な観点から、将来の事業展開、財務体質の強化などバランスを勘案しながら実施する方針としております。その結果、2023年3月期は、1株当たり12円の復配、2024年3月期は、1株当たり15円の増配を実施させていただき、株主様への還元を充実させてまいりました。また、2025年3月期においても、事業活動の進捗等を総合的に勘案し、1株当たり30円の増配を予定しており、より充実した株主様への還元を実施できることを想定しております。

また、引き続き、ご支援いただいている株主様に向けた「プレミアム優待倶楽部」を通じた優待制度も継続しており、拡充したポイントでの株主様への還元策を引き続き実施まいります。

（ii）成長分野への投資

当社は、事業の拡大機会を的確に捉え、事業基盤の強化につながる投資を積極的に行うことを方針としております。2024年3月期においては、具体的な投資の実施には至りませんでした。ただし、2023年5月15日公表の第三者割当による第1回乃至第3回新株予約権の発行、権利行使により調達した資金を「採用・進学分野のサービス強化」へ投入し、また、流通株式数も増加させることができました。当初予定していた「事務局代行分野の運用効率化に向けた設備の投資」については、未実施であります。2025年3月期以降の実施に向け、適時、適切に判断してまいります。

（iii）それらの取り組みを投資家の皆様へ積極的に伝えるIR活動の活性化

これらの取り組みを投資家の皆様にお伝えし、当社グループの知名度を向上するため、積極的にIR活動に取り組んでいます。具体的には、充実した決算説明資料の公表やプレスリリースも積極的に配信し、事業活動について広くお知らせをしております。2021年9月期より導入のポイント制の株主優待制度のプラットフォームを活用した投資家の皆様への情報発信も開始しています。

以上の取り組みによって、流通株式数も増加しており、引き続き基準達成に向けた取り組みを積極的に行うことで、2024年3月末日以降の当社の株価推移も改善していくものと判断しています。

3. 上場維持基準に適合していない項目のこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取り組み内容

（1）流通株式時価総額について

（i）今後の課題

当社は、流通株式時価総額が基準を満たしておりません。なお、流通株式数、流通株式比率は基準を満たしているものの未だ適正な水準には、至っていないものと考えております。流通株式時価総額の基準を満たすためには、適切な流通株式数のもと、企業価値の向上と株式市場での適正な株

価評価を得た株価を達成することが第一の課題であると考えております。

(ii) 今後の取り組み内容

前述の「[取り組みの実施状況]」に記載しているとおり、連結業績計画の確実な達成による1株当たりの当期純利益の増加、その結果として、より充実した株主還元を実施していくことが最重要課題であると認識しております。また、そのための事業拡大機会を逃さず、積極的な成長投資を推進していくとともに、その成長投資においては、有効な資金調達を選定実行や適切な流通株式数の確保など引き続き取り組んでまいります。また、(株)プロネクサスとの業務提携をはじめ、当社事業とのシナジーのある事業会社との積極的な提携を行ってまいります。また、適時、的確なIR活動を行うことで、株主様をはじめとする全てのステークホルダーの方々に対し、企業活動や業績に係る様々な情報を適時、的確に公表してまいります。

以上